

---

# レビー小体病の運動症状・ 非運動症状の治療

2017/2/4

DLBSN-TOKYO

榎林神経内科クリニック

榎林 洋介

---

# レビー小体病の症状

運動症状	中枢神経症状	パーキンソン病	振戦・無動・筋固縮 姿勢反射障害
非運動症状	中枢神経症状	認知機能障害 精神症状	<ul style="list-style-type: none"><li>● 認知症</li><li>● 幻覚、妄想、誤認 うつ、アパシー、 脱抑制、興奮、多動 etc . . .</li></ul>
		睡眠・覚醒の障害	レム睡眠行動障害 意識レベル変動、傾眠
	自律神経症状	身体症状	唾液分泌、発汗異常 便秘、頻尿、失禁 血圧調節の障害（乱高下、 起立性低血圧、臥位高血圧、食 事性低血圧）

# パーキンソン病治療薬

作用機序		一般名	商品名	認知機能	幻覚妄想 せん妄	傾眠	自律神経症状
ドパミン 補充	L-dopa	レボドパ + カルビドパ	メネシット ネオドパストン				
		レボドパ + ベンセラジド	マドパー ECドパール				
ドパミン 代謝阻害	中枢性	セレギリン	エフピー				
	末梢性	エンタカポン	コムタン スタレボ				
ドパミン アゴニスト	非麦角系	プラミペキソール	ビ・シフロール ミラペックス				
		ロピニロール	レキップ/CR				
		ロチゴチン	ニュープロ				
		ゾニサミド	トレリーフ				
NMDA受 容体拮抗薬		アマンタジン	シンメトレル				
抗コリン薬		トリヘキシフェニジル	アーテン				口渇、便秘の悪化

不利益効果

# 認知機能、精神症状治療薬

## アルツハイマー型認知症治療薬とレビー小体型認知症

作用機序	一般名	商品名	適応症（現状）	パーキンソン症状	興奮・多動・易怒	傾眠	自律神経症状
コリンエステラーゼ阻害薬	ドネペジル	アリセプト	国内で承認				不整脈 喘息悪化 悪心嘔吐 下痢腹痛 頻尿
	ガランタミン	レミニール	海外で有効の報告				
	リバスチグミン	リバスタッチ イクセロンパッチ					
NMDA受容体拮抗薬	メマンチン	メマリー					

不利益効果

# 認知機能、精神症状治療薬

## 抗精神病薬：ドパミン阻害薬

作用機序	一般名	商品名	パーキンソン症状
漢方薬		抑肝散	
定型抗精神病薬	ハロペリドール	セレネース	■
	クロルプロマジン	ウインタミン、 コントミン	
非定型抗精神病薬	リスペリドン	リスパダール	■
	クエチアピン	セロクエル	■
	オランザピン	ジプレキサ	■
	ペロスピロン	ルーラン	■
	アリピプラゾール	エビリファイ	■
	チアプリド	グラマリール	■
抗うつ薬	スルピリド	ドグマチール	■

共通して

- 過鎮静、傾眠、認知機能低下
- 便秘、低血圧など自律神経症状

※ 副作用は早期から起こることも、しばらく使ってから起こることもある。

---

# 精神症状に対する薬物治療を行う前に、

---

- 身体疾患合併による悪化（せん妄）を鑑別（便秘、脱水、感染症など）
- 身体疾患に対する投薬による増悪
  - 抗コリン薬、抗ヒスタミン薬（H2ブロッカー含）  
ジギタリス、 $\beta$ ブロッカー、喘息治療薬、ステロイド etc . .
- 精神・神経症状（BPSDを含む）に対する投薬による増悪
  - いわゆるマイナー・トランキライザー
  - いわゆるメジャー・トランキライザー
  - いわゆる抗うつ薬
  - 抗パーキンソン薬
  - 抗認知症薬

---

# レビー小体病でよくみられる自律神経症状

---

- 体温調節
  - うつ熱？こもり熱？
- 発汗
  - 上半身の多汗
- 血圧調節
  - 乱高下
  - 起立性低血圧、臥位高血圧
  - 食事性低血圧
- 消化管
  - 便秘
- 排尿
  - 過活動膀胱（頻尿、尿意切迫、失禁）

---

# レビー小体病の運動症状・非運動症状の治療

---

- 運動症状・非運動症状ともレビー小体の出現部位に関連して症状が出現する。
- それぞれの原因に対応して対症療法が行われている
- ある症状に対する治療が他の要素に対して不利益となる場合があり、投薬の際に注意を要する。
- 他の身体疾患に対する治療薬が症状に悪影響を及ぼすことがあり、投薬の際に注意を要する。